

重ねる年輪が、つなぐ

森林と共に、生きる。



県政運営の基本指針「新・宮城の未来ビジョン」に基づき、各分野で魅力的な活動を展開する県内の企業や団体などを紹介するコーナーです。今回のテーマは「自然と調和した県土づくり」。南三陸町で林業を営む株式会社佐久の代表を務める佐藤太一さんにお話を伺いました。



株式会社佐久の代表取締役・佐藤太一さん。東日本大震災を機に故郷・南三陸町へ戻り、家業の林業に専念。南三陸森林管理協議会の事務局長や一般社団法人南三陸町観光協会の会長も務め、地域と森林の持続可能な発展に向けて幅広く活動しています。

震災を越え、林業の原点へ

株式会社佐久は、12代にわたる山林を守り続けてきた佐藤家から始まった企業です。林業を礎に不動産業などを多角的に経営していましたが、東日本大震災により被災。津波の被害を免れたのは、高台にあった山林だけでした。「どの時代も変わらないうちの林業こそが未来につながる」との思いから、佐藤さんは経営の主軸を林業へ移すことを決意。外部に委託していた間伐などの作業も自社で担い、森林管理会社として新たな一歩を踏み出しました。

震災は、南三陸町という地域の姿を問い直す契機にもなりました。降った雨が山や川を通して里を潤し、やがて志津川湾へと注ぐ循環の中で、町の面積の約8割を占める森林は、豊かな海や里を育むまさに要なのです。

そうした地域だからこそ、森林のあるべき姿を真剣に考えた佐藤さんは、持続可能な森林管理を目指して、国際森林認証「FSC® 認証」の取得に挑みました。

仲間と紡ぐ、FSCの輪

「FSC 認証」は、森林資源の利用と保全を持続可能な形で両立するための国際的的制度です。町の未来を見据え、持続可能な森林管理を実現するには「佐久だけが認証を取っても意味がない」。そう考えた佐藤さんは、行政や町内の林業者などに呼びかけ、南三陸森林管理協議会を設立。震災からの復旧・復興と並行した難しい取り組みでしたが、やがて共感の輪は広がりました。平成27年に県内で初めて認証を取得。現在も、安全装備の徹底や労働環境の改善、環境に配慮した生分解性オイルの導



入など、国際基準に沿った取り組みを協同で進めています。認証を受けた木材は、役場や図書館などの公共施設で使われているほか、温かみのある家具や雑貨へと姿を変え、森林の持つ多様な価値を広く伝えています。

豊かな森を未来へ

佐藤さんにとって森林は、木材を生産するだけの場ではありません。水を蓄え、土砂災害を防ぎ、生き物を育む命の空間です。佐久が管理する約300畝の広大な森林では、毎年の植生調査を基に、その土地に合った

木を育て、多様な植物が共生する環境づくりを大切にしています。手入れが行き届いた森林には、光と風が入り、希少な動植物が姿を見せることもあるそうです。森林に生息する動物の生態調査や保護活動などにも取り組み、より豊かな森林づくりを進めています。こうした取り組みは、森林を守るだけでなく、その価値を消費者に伝え、安心して木材を選んでもらうことにもつながります。「自然から恵みを受けるだけでなく、責任を持って森林を守り、環境に配慮した木材を届けたい」。その言

葉には、林業を営む者としての誇りと、木を使う人々への深い思いが込められています。また、「林業を憧れの職業にしたい」との思いから、町内の小学校で森林の役割を伝える校外学習を10年近く継続。今では子どもたちの多くがFSC 認証を知り、森林に関心を持つようになりました。県の事業を活用した普及イベントも展開し、未来を担う世代へ森のバトンをつないでいます。

新たな価値を生み出す

町の観光協会の会長としても活動する佐藤さんは、山・里・海を結ぶ観光プログラムや自然体験イベント、研究者が集う学会などを企画。地域の魅力を多方面から発信することで、様々な人々が交流し合う新しい動きが芽生えています。

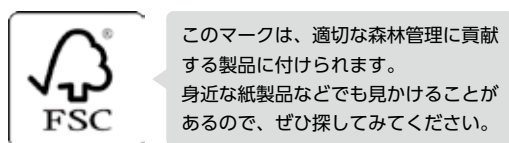
「自然と社会、経済を結び付け、持続可能な一次産業を実現したい」。その先に描くのは、持続可能な発展を遂げる未来の町の姿です。南三陸町、そして宮城県には、自然と共生する町づくりを実現できる力がある——佐藤さんはそう信じ、新たな価値の創造に挑戦し続けています。



「山から学ぶプログラム」の様子



FSC 認証材をふんだんに使い、木の温もりが広がる南三陸町図書館。床や天井など、館内の随所で認証マークを見ることができます。



株式会社佐久



ホームページ



facebook



株式会社佐久の社員の皆さん。背後にあるのは、地域で大切に守られてきた「荒島」です。



南三陸の杉は、雨の少ない環境でゆっくり育つため、年輪が細かく詰まり、強度が高いのが特長です。心材は淡いピンク色で美しく、その色味と強さから「美人杉」とも呼ばれています。

